

第24回全国高等学校女子硬式野球選抜大会特別規定

*当規定は、野球規則を前提に、全日本女子野球連盟の大会規定および全日本女子硬式野球連盟内規に基づき、今大会において留意すべき点となります。全日本女子野球連盟の大会規定および内規の熟読をお願いします。

【1】大会運営に関する規定

- 1 公式試合球は、マツダボール社製を使用する。
- 2 審判員は4人制とする。
- 3 試合の7回を終了した時点で同点の場合、タイブレークを適用する。
- 4 雨天や日没等による再試合または継続試合になった場合、原則として翌日の第一試合に組み込む。
- 5 5回終了以降で、7点差以上の得点差がある場合、コールドゲームを適用する。
- 6 準決勝・決勝戦は9回まで延長し、なお同点の場合はタイブレークを適用する。
準決勝・決勝戦のコールドゲームは適用しない。

【2】競技運営に関する規定

- 1 メンバー表の交換は、開会式当日の第一試合は開会式終了後、各日第一試合は開始予定時刻1時間前、それ以外の次試合は3回裏終了後直ちに大会本部へ提出する。
但し、決勝戦進出チームは東京ドームのビジョンへの登録に時間を要するために準決勝終了後、先攻後攻を決定する予定。
- 2 先攻・後攻の決定はメンバー表交換時に審判員立ち会いのもと、ジャンケンで決定する。
- 3 高校の全国大会の背番号は1番から99番とする。
- 4 選手の交代を審判員に告げるのは、監督が行う。
- 5 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが生じ、一時、走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断した時は、相手チームに事情を説明し、臨時代走を許可することができる。
- 6 次打者は速やかにネクストバッターズサークルで待機する。その際の姿勢は自由とする。
- 7 次打者以外はベンチ内で待機する。ただし、素振りやキャッチボールを命じられた選手は指定場所で行うことができる。
- 8 試合前に審判員が両チームの用具点検を行う。

【3】その他（主な注意点）

- 1 指名打者（DH）の採用を認める。
- 2 監督、コーチは背番号を付けること。
- 3 監督、コーチ（伝令を含む）はタイムをとってマウンドに行くことができる。
- 4 ベースコーチには必ず特定の2人に限る必要はない。
- 5 申告敬遠を採用する。
- 6 ベンチ前でのキャッチボールは禁止とする。
- 7 投手の準備投球は5球以内、または3アウト後、90秒が経過して「ワンモアピッチ」とする。
- 8 次試合チームのブルペン使用は、試合中のチームが使用している場合を除いて、4回以降の使用を許可する。

全国高等学校女子硬式野球連盟